

環境分科委員会のプロジェクト

第3回国際環境フォーラム～国境のない自然～（沿海地方）

1 目的

適切な環境づくり、安全な廃棄物処理、合理的な天然資源利用の問題解決に向けて、国際協力・国内地域間協力の推進に関する検討、意見交換を行う。環境改善や天然資源の合理的使用における他国の経験をとりとまとめ、環境保全および天然資源の合理的使用のための連邦政府・地域政府機関、国際及び国内 NPO、NGO 等の理解や協力を深める。

2 事業内容

(1) 実施期間 2008 年 11 月 12 日～13 日

(2) 実施場所 ウラジオストク市

(3) 実施方法

各自治体は、環境保全に関心を持つ科学者、専門家、NGO、NPO、企業などに、「第3回国際環境フォーラム～国境のない自然～」の開催について、情報提供し、参加を呼びかけた。各自治体の環境部局の代表にも参加するように協力を呼びかけた。

ア テーマ：合理的な天然資源利用

イ 主な議題は以下のとおり。

- ・海洋環境：沿岸地域の現状及び保全に関する今後の方向性、沿岸地域の総合的な管理の課題
- ・合理的な水源利用及び淡水質の問題
- ・沿海地方の適切な環境維持の要素として放射性物質処理のための国際協力
- ・森林保護及び森づくり
- ・リモートセンシング：災害発生の前兆候の発見

(4) 参加者

北東アジア地域の国々に参加を呼びかけた。NEAR 環境分科委員会のメンバーである富山県、鳥取県、サハリン州の地方政府が参加。その他、アメリカ、ドイツ、オーストラリア、日本、中国、ベトナム、モンゴル、カザフスタンからの代表が参加した。

ロシア国内からは、沿海地方以外にも、モスクワ、クラスノヤルスク地方、ハバロフスク地方、チュメニ州、チタ州、サハリン州、マガダン州、アムール州、ユダヤ自治共和国からの代表が参加した。

その他「環境及び合理的な自然利用」専門展示会が開催され、全部で 26 団体の展示ブースが設置され、外国からは富山県を含め 2 つ展示ブースが設置された。

(5) 年間計画

2006 年、2007 年のフォーラムはウラジオストク市で行われ、それぞれ 600 人以上の国内外の代表者が参加。2008 年のフォーラムでは約 700 人が参加。2009 年 10 月 6 日～8 日にも開催する予定

□11月12日

フォーラム（全体会議）



□11月12, 13日

特別展示会

